

朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人的知性に富む人間の育成をめざします。

## 宮田 淳氏 理事長に就任

朝日大学理事会は去る3月20日、宮田 侑理事長の辞意を受けて、新たに宮田 淳氏を理事長に選出した。「建学の精神」の具現化と、時代の変化に即応するための世代交代という前理事長の強い思いを、若き新理事長が継承する。新しい時代の扉が開いた。



握手を交わす宮田 侑前理事長(右)と宮田 淳理事長

## 次代の若手に「夢」を託す



大学の永遠の発展には、常に時代の変化に即応することが必要であるという信念に基づき、宮田 侑理事長は後進に「夢」のバトンを託した。

1971年、朝日大学の前身である岐阜歯科大学の開設以来、創立者である宮田 慶三郎先生を支え、建学の精神の具現化に向けて、常に先頭に立った。宮田 慶三郎先生の逝去を受けて、1997年5月に理事長に就任。16年10ヶ月という永きにわたり大学改革に心血を注いだ。この間、経営学部ビジネス企画学科ならびに保健医療学部看護学科の設置、歯学部における生涯研修の事業化、そして附属村上記念病院の西館増築・総合健診センターの拡充移転など時代の要請に即応した運営を行い、また強固な財務基盤を確立した。信条ともいえる国際交流事業も活発に展開し、自ら諸外国を訪れ大学間の交流を促進、そして現在まで続く学生間交流の礎を築いた。

なお理事会からの強い要請を受け、引き続き法人相談役として大学運営を見守ることとなった。

## 建学の精神のさらなる具現化を目指して

—宮田 淳新理事長 就任メッセージ—



略歴／1969年2月16日生まれ、45歳。1992年3月慶應義塾大学商学部卒業、1997年3月東洋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。修士（経済学）。明海大学経済学部助教授、ホスピタリティ・ツーリズム学部教授。学校法人明海大学常務理事、朝日大学法人本部長などを歴任。

先進国における経済成長の鈍化、エネルギー・資源の問題や経済発展に伴う環境汚染など地球規模で連動する課題が山積するなど人類は今、様々な困難に直面しています。このような状況下で、高等教育機関である大学の果たすべき役割はますます重要なものとなっています。

私は理事長として、本学が掲げる「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして人類普遍の人的知性を身に付けた人材を育成する」という建学の精神を具現化すべく、学生の皆さんには多様化する社会のニーズに対応し、さまざまな視点から問題解決へのアプローチを学んでいただきたいと考えております。そのためには各分野の専門家による愛情あふれる厳しい教育を提供し、修学環境を整備し、学生の皆さんが抱くそれぞれの「夢」の実現を支援して参ります。1971年の創立から43年が経過しましたが、社会における卒業生の活躍こそが朝日大学の真の評価だと信じております。その活躍の基盤を形成するものが「学び」であり、大学は卒業後も継続して「学びの場」を提供して参ります。

創立者宮田 慶三郎が創り上げ、前理事長が育んだ「夢」を継承すべく、朝日大学のさらなる発展のため誠心誠意努力する所存です。皆様方からの変わらぬご支援、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 新たな執行体制が決まる

2014年3月20日に開催された理事会において宮田 侑氏が理事長を退任し、宮田 淳氏を新理事長に選出。また、このたび退任した理事、監事について後任を決定した。4月1日に発足した新体制には、新たに副理事長職が置かれ、増岡 由弘氏が選出された。新しい役員は次の通り。

### 【学校法人朝日大学 新役員】

理事長 宮田 淳*	理事 藤田 厚	理事 坂上 宏*
副理事長 増岡 由弘	理事 森下伊三男	監事 永松 榮司
常務理事 岡村 明夫	理事 鳥飼 重和	監事 菱田 健治*
常務理事 高橋 偉茂	理事 倉知 正和	
理事 大友 克之	理事 磯崎 篤則*	相談役 宮田 侑*
理事 井田 和徳	理事 大橋 宏重*	

\*印は新任